

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



1970 年 (昭和 45 年) 生まれ 県立君津高卒
専修大卒、早稲田大大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax : 0476-36-7802

HP : <http://www.iwai-y.jp> メール : mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



blog



facebook

マイナ保険証への移行 問われる日本のデジタル化

今年 12/2 の現行保険証の廃止を控え、普及促進が図られるマイナンバーカード保険証 (以下、マイナ保険証)。「マイナンバー情報が漏れるのでは?」といった誤解も見受けられるところで、新保険証への正しい理解を広めていく必要があります。

●マイナ保険証の利用率 わずか 4.6%

今年 2 月の厚労省の報告によると、マイナンバーカード保有者 9168 万人のうち、保険証としての利用登録を完了したのは 7143 万人 (全人口の 56.9%)。マイナ保険証の利用実績は 753 万 3270 件で、利用率はわずか 4.6%です。今年 12 月に現行保険証の廃止が予定される中、利用率の伸び悩みが顕著となっています。

なお、現行保険証が廃止されても、今年送られてくる新しい保険証は来年の利用期限まで利用できること。マイナンバーカードを持っていない人、マイナ保険証の利用登録を行っていない人については、保険者から送られてくる「資格確認書」で受診できることとなっています。

●マイナ保険証は「マイナンバー」を使わない

さて、窓口での限度額以上の支払いが不要となること、引越し等による保険証更新が不要となること等、マイナ保険証によるメリットはいくつか挙げられますが、個人的には、医師に患者情報を正確に伝えられるところにあると思っています。

お薬手帳に記載されない入院中の薬剤や院内処方薬剤を含め、他の医療機関や診療科で処方された薬剤の情報に加え、これまでの受診履歴や健診記録情報についても、診察する医師に提供できるようになります。



一方、マイナンバーカードに記載されているマイナンバー、IC チップから個人情報漏洩の恐れがあるとの指摘は間違い。マイナ保険証では IC チップの中の電子証明書を使うため、マイナンバー (12 ケタの数字) は使われませんし、IC チップに受診歴や薬剤情報等の個人情報が記録されることはありません。そもそも、病院等の窓口でマイナ保険証を渡すわけではないので、情報が盗み見られるというリスクはまず考えられません。

●「アナログ日本」を変えなければならない

そもそもですが、受診の際にお薬手帳を持参し、処方薬情報をシールで貼付してもらうというのは時代遅れが過ぎると思ってきました。コロナ禍にあって「アナログ日本」が露呈し、対策に費用と時間がかさんだことは記憶に新しいところ。社会のデジタル化、IT 化の遅れが、わが国の競争力を損なってきたことは論じるまでもなく、そういう意味でも、マイナ保険証への移行は果たしていかなければならないものと考えます。

信号機未設置事例としてNHKも取上げ 竜腹寺交差点

見通しが悪く、死亡事故も発生している印西市・竜腹寺554-1先交差点(以下、竜腹寺交差点)。4月には、信号機が設置されない交差点として、NHKのニュース番組が取り上げ放送。交差点先に計画される印西市道の開通が、問題解決の力を握ります。

●信号機予算不足 年300件の要望に新設10基

これまでも県議会にて取り上げてきた、竜腹寺交差点の信号機問題。同交差点は、笠神、中根地区など旧本埜村中心部の住民が多く利用するところですが、市道側からの見通しが悪い上、県道側はスピード超過車両も少なくなく、車両の右左折時にヒヤッとさせられることは日常茶飯事です。

同交差点では、平成22年の四輪車と歩行者による死亡事故に続き、昨年1月にも四輪車と二輪車が絡む死亡事故が発生。昨年3月には地元竜腹寺地区から信号機設置に関する要望書が提出されたものの、未だ改善のめどは立っていません。

そもそも、信号機設置の遅れの背景となっているのが県の信号機予算の不足。県警は、信号機の維持管理の費用として毎年約40億円を投入していますが、これは県警の交通関連の予算の4割を占め、他の予算を圧迫しています。結果、千葉県内で出される信号機の新設要望が年間300件ある中で、新設されるのは年間10基程度にとどまっているのです。

●NHKニュースでの取り上げ 追い風を期待

そのような中、竜腹寺交差点の信号機問題を取り上げたのは、NHKのニュース番組「首都圏ネットワーク」。6年度県当初予算において信号機予算が減額されたことを受け、県内の信号機未設置事例を



追ううちに、死亡事故が複数発生している同交差点に行きついたとのこと。実は、県議会でも繰り返し問題を取り上げてきたとして、岩井も記者さんから取材を受けるとともに、事情を知る地元地区長さん等を紹介させてもらっています。今回のニュース番組での取り上げが、問題解決の追い風になることを期待してのことです。

●市道竜腹寺線 印西市長と連携して取り組む

さて、この竜腹寺交差点から、南側にある北千葉道路へと市道竜腹寺線で結ぶ計画があります。残る工事区間は150m足らずで、用地取得も終えている状況ですが、全長100m超の橋梁を設置する必要があり、完成のめどは立っていません。

竜腹寺交差点の信号機設置は一刻も争う課題と言えますが、警察当局は同市道の開通を待って、整備したいとの意向が見え隠れしています。引き続き、千葉県警による早期の信号機設置を求めていくとともに、板倉印西市長、市担当課と連携を図り、市道竜腹寺線の全線開通についても働きかけを行ってまいります。

